

# 市民を守りたい～樋門の遠隔監視・遠隔制御への挑戦～(福岡県直方市)

## 取組概要

直方市では、河川管理施設の一つである「樋門」が抱える3つの問題点、「作業の危険性」、「操作人の高齢化」、「担い手不足」を解決し、持続的な運用・管理を実現するため、デジタル技術による樋門の遠隔監視・遠隔制御・自動化技術を地元の企業や大学と連携して研究開発を行いました。現在、操作人の安全を守る樋門管理システム並びに重要監視地点のリアルタイム監視システムを実装し、他自治体への横展開を目指しています。

## 取組の効果

開発した樋門の遠隔監視制御技術は実装段階に移行しており、樋門操作をお願いしている地域住民によるタブレットを用いた遠隔操作ができるようになっていきます。従来と比較し、格段に安全性が向上しており、大雨時や夜間の現場であっても安心して操作することが可能となっています。

## 創意・工夫した点

単なる実証実験に終わらせず、しっかりと実装へと結びつけるため、取り組みの当初から実装・横展開を目標としたロードマップを掲げるとともに、マーケティング理論を用いながら、研究開発マネジメントを行いました。

## 他団体へのアドバイス

現場(顧客)の声を受け止め、その声をしっかり課題解決へと導くことができるプロジェクトマネージャーとしての役割を果たすプレーヤーがいることが最も重要であり、自治体職員にこそ、そのマネジメント能力が求められていると考えます。

人口 55,121人 (R6.1.1現在)

担当 産業建設部 商工観光課  
産業イノベーション推進係

### 研究実施体制の枠組み



地元の産学官連携による研究開発体制



開発した樋門管理システム